



アナログな現場作業を、スマホ1台で「確証」に変えるプラットフォーム『現場ログ』

専用アプリ不要。多重下請け構造の報告業務をDXする現場証明SaaS

巨大産業に残る「3つの深い闇」

究極のアナログ作業

現場をデジカメで撮影し、事務所に戻ってPCに取り込み、Excelに貼り付けて報告書を作成する膨大な手間。

多重下請けのITリテラシーの壁

元請けが立派なシステムを導入しても、孫請け・ひ孫請けの作業員には「専用アプリのインストール」や「複雑な設定」を強制できず、現場に浸透しない。

証拠の不確実性と改ざん

「本当にその日のその時間に、その場所で作業したのか？」という絶対的なエビデンスが担保されていない。



現場を迷わせない。ごまかしを許さない。

アプリ不要の1秒アクセス
現場のQRコードを読み取り、発行されたID/パスワードでログインするだけ。ITが苦手な作業員でも迷わない直感的なUI。

GPSの強制取得による「絶対証明」

スマホのGPS機能をバックグラウンドで強制取得。写真にExifデータが無くても、データベースに「絶対的な位置情報の証拠」を自動刻印。

セキュアなマルチテナント設計

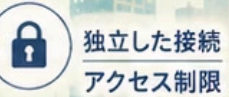
元請け・下請けが相乗りしてもデータが絶対に混ざらない強固な権限管理。画像への直接アクセスも遮断するエンタープライズ品質のセキュリティ。





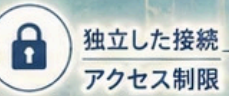
協力会社 A

カメラ 記録 送信 閲覧



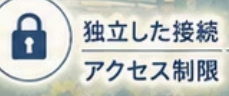
協力会社 B

カメラ 記録 送信 閲覧

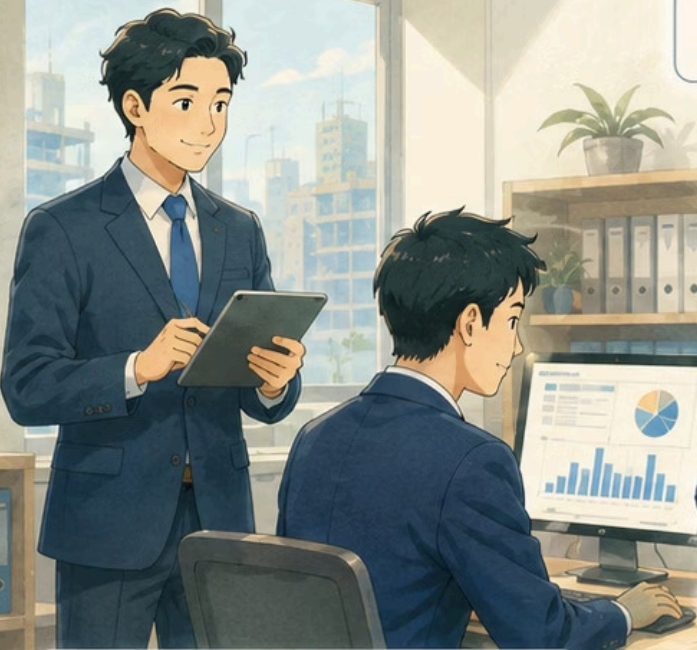


協力会社 C

カメラ 記録 送信 閲覧



**各協力会社は自社情報のみ閲覧
他社の情報は閲覧できません**



管理会社

- すべての情報を閲覧・管理可能
- 写真・記録を確認
- 現場状況を確認
- 協力会社ごとに管理

「津波対策IoT機器」の全国設置インフラとして稼働

1 自社の巨大プロジェクトで実証予定

弊社が全国展開する「津波対策IoT機器」の設置完了報告・台帳管理システムとして『現場ログ』をフル活用。

2 全国の設置業者を即時ネットワーク化

当社が現地に行かずとも、各地域の設置業者がアップロードした「GPS座標付きの証拠写真」により、全国規模の設置台帳がリアルタイムで自動生成される。

3 「現場で使える」絶対的な証明

自社のインフラ構築という過酷な現場で鍛え上げられるシステムだからこそ、他社の机上の空論ツールには負けない実用性がある。



「対象物」を変えるだけで、無限の市場へスケール

『現場ログ』のコアエンジン（元請け→下請け→現場の階層構造）は、業界を問わずそのまま転用可能。



不動産・ビル管理

退去時の状況確認、清掃業者の完了報告（現場＝物件・部屋）



インフラ保守

老朽化インフラ、看板、電柱の点検報告（現場＝点検対象）



物流・運送

置き配の確実な証明、配送状況の記録（現場＝配達先）



1社の営業が「数十社」の導入を生むバイラルモデル

トップダウンでの強制展開

元請け企業（管理会社）1社に導入させれば、「明日からウチの報告はこのシステムで行うように」と、数十の協力会社へ自動的に展開される。

一人社長でもスケーラブルな自動化

「トライアルアカウント」を即時発行する機能を実装済み。営業の人海戦術に頼らず、プロダクトの力だけで顧客を獲得・拡大。

報告業務を「自動化」から「無人化」へ

01

手入力ゼロ

アップロードされた写真から「IoT機器のシリアルID」などを自動で読み取る機能を実装。

02

強固な本人確認基盤

KDDI APIを利用したSMS二段階認証を導入し、SaaSとしてのセキュリティを金融機関レベルへ引き上げる。

03

ビジョン

現場の作業員は「ただ撮るだけ」。あとの報告・整理・証明はすべてシステムが完了させる世界を実現する。

□ 現場の作業員は「ただ撮るだけ」。あとの報告・整理・証明はすべてシステムが完了させる世界を実現する。